

# 新春白部

発行  
日本共産党  
春日部市委員会  
春日部市粕壁  
東丁目7-12  
電話 748-5159  
FAX 748-5179

## 今尾やすのり議員一般質問



### 学校優先プール早期に 終活支援制度創設を提案

9月9日、今尾やすのり議員は、①終活支援制度の創設を②学校優先プールの整備と市民プール建設を、について一般質問を行いました。

#### 引き取り拒否が

#### 76・7パーセント

5月26日付しんぶん赤旗日曜版に掲載された記事によると、引き取り手のない無縁遺骨が全国で約6万体にのぼり、

約9割に達しています。

春日部市の現状を問うと、

令和5年度で60体の方が身元がわかっていて、そのうち46体の方が、引き取り拒否となり、76・7パーセントにのぼることがわかりました。

市は、病院や警察などからの情報に基づき、引き取り手を探す事務などを行ないますが、引き取り手が見当たらない場合、関係法令に基づき市が埋葬を行なわなければならない定めとなっています。

今尾議員は、「市の職員の負担の軽減と、希望する方が安心できるように、先進的な自治体が取組んでいる終活支

援制度を創設すべきではないか」と質すと、福祉部長は、「国がガイドラインを示し、モデル事業も始まっています。今後、検証なども行なわれるので、国の動向を注視してまいります」と答えました。

#### まずは一か所早期に

#### と答弁

現在、本市では小中39校のうち小学校など5校(14・7パーセント)が学校プールではなく、民間事業者3者4施設でプール授業を行なっています(10月からのところもあり)。

学校プールは小学校で8コマ、中学校10コマ、民間は5〜9コマの水泳授業を行なっています。近年の猛暑などの影響で、学校プールでは小学校で1時間、中学校で2時間授業が中止となっています。着衣水泳の状況は、全ての

学年で取組んでいるのが小学校12校、中学校1校。いずれかの学年で取組んでいるのが小学校17校、中学校3校。取組んでいないのが小学校4校、中学校8校ありました。

今尾議員は、「今後も使えなくなるプールが増加するものと考えます。早期の整備と複数のプールの建設についてはどう考えるか。将来的には市民プールも検討すべきではないか」と質しました。

学校教育部長は「複数のプールが望ましいと考えますが、まずは敷地内に一か所、出来る限り早期に整備するため検討を進めてまいります。その際は授業時間外の一般開放も進めてまいります」と答えました。

岩谷市長も、「子どもたちの環境整備を第一に考え、出来る限り早期の実現をめざして取組んでまいります」と答えました。

並木としえ議員一般質問



住み続けるための「足」の確保へ  
デマンド交通の導入を

9月9日、並木としえ議員は①住み続けるための「足」の確保へデマンド交通の導入を ②「人権のつどい」は抜本的に見直しを ③子どもを真ん中にした学童保育へ、民間株式会社丸投げでなく市として「あるべき学童保育」のビジョンをの3点について一般質問をおこないました。

交通空白地に新たな  
交通手段導入を検討

地域公共交通は車を自由に使えない人にとって日々

の生活をおこなうために不可欠です。春バス第4次運行では利用の少ない路線が廃止・縮小となりましたが、住み続けるための「足」をどう確保していくのかを質しました。さらに、人口の少ない地域にはドアツードアのデマンド交通の導入を検討すべきと主張しました。都市整備部長は「新たな交通空白地域については、第4次運行期間内に新たな交通手段の導入を検討したい」と答弁しました。市長は「だれもが自由に移動できる持続可能な街の実現には公共交通が果たす役割がこれまで以上に重要。公共交通空白地域については、地域の方々のご意見もいただきながら、地域公共

交通活性化協議会や庁内で協議し、よりよい施策の検討をおこなってまいりたい」と答えました。

部落解放偏重でなく  
人権尊重社会実現へ

埼葛地域の12市町で構成していた「埼葛郡市人権施策推進協議会」は、12市町と教育委員会、部落差別の開放の目的で活動する「部落解放同盟」などで構成し、毎年「人権のつどい」を開催してきました。今年、「人権のつどい」負担金の使途不明金の疑念が発覚し、部落解放同盟幹部による久喜市職員へのパワーハラスメントが問題となり、久喜市と吉川市が協議会から脱退し「人権のつどい」は中止になりました。

並木議員は「使途不明金やハラスメントの真相を解

明すると同時に解放同盟と縁を切って、部落解放偏重でなく本来の人権尊重社会実現の取組へと抜本的な見直しを」と主張しました。

異年齢集団で遊び、  
成長しあえる場所に

放課後児童クラブは、子どもたちが自分らしくいられる居場所であり、異年齢集団で人間関係を築く場所であり、遊びを通して成長しあえる場所です。現在、民間株式会社運営を丸投げしていますが、父母や関係者からは「支援員の配置が不十分」などの指摘があり、訴訟になっています。

並木議員は「民間会社との契約内容は細切れの保育にならざるを得ない。市は学童保育のあるべき姿を示し保育の質の向上を図るべき」と求めました。

休日の当番医

市立医療センター TEL735-1261(夜間毎日、土・日・祝日)内・外科系 小児救急電話相談 #7119  
9/22(日)悠翔会在宅クリニック(内科系)中央1-1-8TEL7760-3477 ふじばなファミリークリニック(小児科系)イオンモール1階TEL797-8027 松浦産婦人科(外科系)一ノ割1-5-1TEL735-7851  
9/29(日)粕壁東クリニック(内科系)粕壁東1-7-17TEL812-7000 いぶき子どもクリニック(小児科系)大枝309TEL735-0854 五百木整形外科(外科系)中央5-5-19TEL736-9977